

## 第12回

## 住まいと

## コミュニティ

## づくり

## 活動助成



活動地域：北海道旭川市

概要：

緑豊かな住環境をめざして1970年に団地造成された旭川市緑が丘地区。とくに区民ストリート「プラタナスのトンネル並木道」はすばらしい緑の景観を形づくっています。この並木道をさらに活かすために、1997年から当団体が中心となり、ハーブの植栽を行い、「香りロード」と名づけ、ハーブの管理やイベントなどを行ってきました。助成対象活動では、市が実施する歩道のカラー舗装化に合わせ、さらに9000株のハーブの植栽（全長1.4km×幅80cm）を実施、「香りロード」を完成させるとともに、「香りロード完成記念式典」（式典のほかに高石ともやと走ろう会や地元の合唱団・合奏団の演奏会も実施）を開催しました。また、広く会員募集を行い、研究と活用を中心とした活動を行う「ハーブ愛好会」を設立、今後は愛好会と役割分担をしながら、活動を進めていきます。各町内会や地元小・中学校の行事にハーブの手入れ作業が組み込まれるなど、住民とともに進める活動が定着しつつあります。

〔緑が丘地区市民委員会〕

- ・ 代表者：石田 平
- ・ 連絡担当者：紙谷 正勝
- ・ 連絡先：〒078-8303 北海道旭川市緑が丘3条3丁目  
緑が丘住民センター
- ・ TEL：0166-65-3030
- ・ FAX：0166-65-3030
- ・ E-mail：
- ・ ホームページ：

## 1 目的と経緯

目的：

ハーブを用いた住民の手による香りロードの実現

経緯：

香りロードをつくろうという呼びかけに対して多くの住民が応じるにより組織がつけられた。

「香りロード」。このロマンチックな響きの道とは、緑が丘地区を南北に貫く並木のメインストリートがあり、この歩道の傍らに約10種の多年草のハーブが咲き乱れる香り豊かな道のことである。8年間、地域の人々の知恵と自らの汗で作った地域住民のハーブの道を「香りロード」と名付けたものである。

旭川市内の南の台地に旭川医科大学に隣接して約1km四方のニュータウン「緑が丘」がある。30年前の造成で約60棟の市営・通常のアパート群を中心に800戸余りの一般住宅を配した団地である。現在2300戸、24町内会の連合体を緑が丘地区市民委員会と称している。

この市民委員会の当時の恩田二郎会長、志水登顧問、石田平総務の3人が隣町の東川町の農家を訪問して「道路の脇にハーブを植えたい」と相談を持ちかけた。これが「香りロード」の発端であった。いまから8年前の年末のことであった。

「香りロード」構想というのは、具体的にはプラタナスの並木の樹木の間幅2m、長さ7m、深さ30cmの芝と土を除去し、畑用土と肥料を入れ、約百株のハーブを植え込む。このハーブ畑を1年間に10ヶ所造成するという計画であった。

挫折がこの計画を待ち受けていた。この構想実現に要する財源確保には、市民委員会および各町内会および各家庭からの持出し等では到底賄えるものではなく直ちにギブアップ。

芝生の掘り起こし、土入れ費用がネックとなったのである。ただ、役員会で「ハーブ畑」が否定され

ても「ハーブ」の名が各役員の頭の片隅に刻まれたのは確かである。

何故「ハーブ」なのか？ 北見地方では「はっか(ミント)」栽培が昔から盛んだったが、旭川地方でも昔からミントは作られていたし、中富良野のラベンダーが人気を呼んでいてボンヤリと気候風土がハーブに適した土地柄ではないか、と感じていたようだ。

それに多年草が数多くあり、育てやすい(困難な種類も多々あることを後に理解)ので手間がかからないこと等が「ハーブ」になったような気がする。

追風が「香りロード」実現に向けて吹く。1998年、旭川市景観課による「もっと良くしよう！プラタナスの径(鈴懸の径)・景観ワークショップ」の開催である。『少なくとも北海道有数の並木道』と評判のプラタナス並木道は3kmにおよび、3つの市民委員会がそれぞれ関係するのだが、会場として緑が丘住民センターが選ばれたのも追風の一つだったようだ。市外や地区外から参加者もある中、討論参加者は地元の利で圧倒的に緑が丘の住民であった。ワークショップなるもの初めての経験だったが盛会裡に終了、その後、緑が丘の参加者の集まりを持ち、「このワークショップを生かす道は何か」を真剣に話し合い、意見の一致をみたのが「香りロード」を実現させよう、ということであった。

恩田会長の執念が実を結ぶ。1999年「ワークショップ」の成功と住民の「香りロード」の声を背に恩田会長と市との折衝が見事に結実、10ヶ所の土を除去し、代わりの土入れ、しかも苗、肥料まで前の持ち出しで住民の手によるハーブ植栽が実現したのである。この交渉の時、「芝・土の除去と畑土入れは市が行う」が次のステップの強い追風になっていく。

順風。緑が丘に黒田正子さんを招く。道内にも数少ないハーブコーディネーターである。黒田さんが緑が丘に移住されてきたのは大きな味方を得た思いで、事実この後ハーブの師として、ことあるごとにリーダー役を引き受けていただいていた今日に至っている。



ハーブ(ラベンダー)の植栽風景



プラタナス並木道でのマラソン

ここまで、計画が進み始めると後は一気呵成の流れで念願の「いきなまちづくり事業」の3年(2000～02年度)の補助金が決まり、基金づくり(24町内会の約2300世帯に1世帯あたり30円の負担をお願いした)に各戸に負担をお願いし30ヶ所のハーブ畑を造成することができたのである。

再び追風が吹く。市が6年計画で「プラタナス並木道」の歩道をカラー舗装にし、街路灯を設置する工事が進行中、緑が丘は2003～04年度と決まる。車道を狭くし、その分歩道を広くするのだが、ニュータウン規格で十分の幅を持っているところに、更に広げるわけで、住宅側に1mの畑を作り植栽が終わっているハーブを移植してはどうかという申し出があり、30ヶ所の畑とはいえ点に過ぎず、香りロードがここに名実ともに線であるロードになるという追風を受けたわけである。

また、H&C財団助成が決定したことは、資金面はもちろん、失敗は許されない緊張感を与えてくれて、大きな力となった。

最後に人の和と輪について触れておきたい。恩田前会長の執念については述べたとおりであるが、林徹男・現会長のこの事業にかける熱意と意欲も強く「香りロード通信」の発行にあたって田中秋夫広報部長と連携とともに親しみやすく、暖かみのある平易な文章に努め、住民の皆さんへこの事業の浸透の大きいに役立った。

助成の申込書は下田達雄総務部長の手によるもので、単なる応募に留まらず、将来的に「ハーブ愛好会結成」を見通したものを作成した。さらに、完成記念式典についてもプロ顔負けの多彩な演出で見事に成功させた。石田平香りロード部長は急がず、負けず、少しずつ進む人といえよう。人の和の見本のような人で、粘り強さと柔らかさで見事に人の和を人の輪に変えた影の立役者である。



香りロード通信

## 2 活動内容

市が実施する歩道のカラー舗装化に合わせ、9000株のハーブの植栽(全長1.4km×幅80cm)を実施、「香りロード」を完成させるとともに、「香りロード完成記念式典」(式典のほかに高石ともやと走ろう会や地元の合唱団・合奏団の演奏会も実施)を開催した。また、広く会員募集を行い、研究と活用を中心とした活動を行う「ハーブ愛好会」を設立した。

ここでは、「香りロード完成記念式典」について詳細に述べる。

### 2-1 イベント開催の経緯・目的:

2000年度からハーブの植栽を開始し、5年目の2004年度を最終完成年度として区切りをつけるため、「プラタナス香りロード完成記念式典」の開催につき、2004年度の緑が丘地区市民委員会定期総会において決定された。

名称: プラタナス香りロード完成記念式典

主催: プラタナス香りロード完成記念式典実行委員会(市民委員会全役員で組織運営)

日時: 2004年9月11日(日)14:00～17:30

場所: 旭川市緑が丘神陵公園

### プログラム:

- 1) 高石ともやと走ろう会  
小学生～旭川市立緑新小学校往復 3Km  
約100名参加  
中学生・一般～神楽岡緑のセンター往復 5km  
約150名参加
- 2) 香りロード完成記念(ラベンダー)植栽～参加者全員で「香りロード」を完成させた
- 3) プラタナス香りロード完成記念式典  
主催者挨拶、来賓挨拶(市長、近隣市民委員会代表)、祝詞・祝電披露
- 4) グリーンハーモニー演奏会(演奏順)



プラタナス香りロード完成記念式典

- ・ 緑が丘東保育園 和太鼓(20名)
- ・ わかば幼稚園 斉唱(75名)
- ・ 旭川工業高校 吹奏楽(20名)
- ・ 緑が丘小学校 吹奏楽(70名)
- ・ 緑が丘中学校 吹奏楽(70名)
- ・ 旭川医大女声ソルフェージュ 合唱(20名)
- ・ トウイマーダ旭川男声合唱(20名)
- ・ 医大女声・旭川男声 合同+全体合唱
- 5 高石ともやのトークと演奏(スタッフ)(20名)

他の連携団体等

- ・ 旭川市
- ・ 旭川所在の報道機関(新聞社6社、放送局8社)等
- ・ 北海道野性生物基金
- ・ ワイルドラン(高石ともや氏と彼の同期生のスタッフ)
- ・ 清涼飲料関係4社

夢は実現する。当初は、神陵公園の二つのなだらかな緑の小山に観客に座ってもらい出演の演奏を見下ろすという素朴な形だったが、会議が進むにつれて夢は膨らみトラックを利用したステージが配され、テントも設営し、ハーブグッズやビールに焼き鳥と構想が倍増し、当日のイベントが実現したのであった。天気は不安材料で、雨天を想定して隣接する小学校を借用していたが、結果は杞憂に終わった。

この式典には、旭川市長、関係する市議会議員、隣接する市民委員会関係者、地域の学校関係者の参加も得られた。顧みるとこの「香りロード」事業の完成には、「行政なくして完成なし」が実情であるが、地方自治とは、行政は行政の立場、地域は地域の持ち場と上手な住み分けと協力が肝要と改めて実感した式典であった。

高石ともや氏からは「この式典が参加者の胸にいつまでも残るように、また、香りロードに魂が入るように全能力を傾注しました。一人でも多くの方が

それを感じとり香りロードを中心に緑が丘地区が誇り高い地区として伸びていくことを祈ります」というメッセージをいただき、氏の友人である金子国彦氏からは「不安はあったでしょうが行事としては合格点をいただけたでしょう」という礼状を後日いただいた。

### 3 活動の成果

#### 3-1 活動全体の成果

活動全体を通しての具体的に目に見える成果として以下の5つがあげられる。

- ・ 小学校、中学校の年間行事予定にハーブの手入れの作業日が組み込まれたこと。
- ・ 各町内会行事に「香りロード」作業の項目が設定されたこと。
- ・ 雪解け間もないハーブの根元の枯葉を個人的に取り払う姿を目にする。
- ・ 新年度にもう一基道路標識板に「香りロード」のデザイン提供者が出たこと。
- ・ 老人会(百寿大学、みどり会)から、ハーブ愛好会に入会あるいは各行事へ参加希望の申し出があったこと

#### 3-2 「香りロード完成記念式典」の成果

9月11日の「香りロード完成記念式典」については、当市民委員会の30年にわたる組織的実践の積み重ねと十分な実績を持っているので、成功は十分予測できることであったが、林会長、下田総務部長二人の緻密な計画性と見事な実行力、特に市行政当局、北海道野性生物基金、ワイルドラン、各学校、協力してくれる商社など外部との交渉力で成功の上のさらに成功を上積みすることができた。

この記念式典の最大のねらいは「香りロード」は自分たちのもの、自分たちの汗で育てたもの、今後とも進んでハーブの世話をするという意識の定着にあたった。その意味で記念式典そのものの成功は今後大いに役立つ、そして役立ったといえる(緑が丘



グリーンハーモニー演奏会の様子



香りロードのプレート

数千人のどの程度に影響を与えたかを具体的に測ることは無理としても）

しかし、イベントは具体的に目に見えなくても、その持つ効果には疑う余地はない。「香りロード」の維持・管理・利用が順調に推移し、何年か後に再び記念的なイベントを持つとする意志が説くような1年1年の積み重ねが期待できるのではないか。こんな成果が、この式典から生まれたと見る。

### 3-3 「ハーブ愛好会」の成果

新たに立ち上げた「ハーブ愛好会」の活動については、70余名の会員を得、選出された7名のリーダーが活発に動き始め、十分な成果を生んでいる。会の規約改正について指摘する声も出たり、予算不足に関する意見や関心も深まってきている。各班の現状と見通しを整理しておく。

- ・ 見学ツアー班では新年早々に2度の会合を持ち、候補地の選定に入り、2005年6月実施のための準備を着々と進めている。
- ・ 香りロード通信班は、フレッシュな顔触れで新機軸を打ち出すようである。
- ・ ハーブグッズ・リースづくり講習会班は、ハーブの種類によって採集の時期がずれるので、日程調整に苦慮している。
- ・ ハーブティー班では、身近なハーブだけではブレンドするのに限界があるので、見学ツアーを利用して種類を増やしたい意向をもっている。

- ・ ハーブ料理班は、2005年10月に向けて、どんな独創的な(?)ご馳走が出現するのか注目されている。

## 4 今後の取り組み

単純明快な目標は「香りロード」を破産させないために、今後何をなすべきでないかである。前項でも触れたが何年か後に再びイベントを行う。こんな形まで熟成するのが望ましいか、これが、賢沢な願望とするならば、最低はこの灯を消さないことである。

市民委員会とハーブ愛好会の分担については流動的で変わることもあると思うが、分担がどちらに重心を置こうが、若い若いに関係なく「香りロード」のハーブにかがみこみ、ハーブに触れるひとの姿を常に目にすることも目標の一つである。

ハーブ愛好会には市景観課の認定団体としてハーブの育成状況を的確に把握して、補植には、何の苗がどれだけ手配するか、の大事な仕事がある。リーダーは何度も現場に足を運びハーブと対話を重ねることである。

最後に、2005年4月29日、地区市民委員会総会に提出される香りロードに関する市民委員会とハーブ愛好会の分担を示す。

「香りロード」は今スタートしたばかりである。

業 務	市民委員会 環境衛生部	緑が丘ハーブ愛好会
草取り・刈取り	草取り、落葉除去、刈取など、春・秋に一斉清掃時期に各町内会に呼掛け一斉に行う。	清掃要領などを指導する。
補 植		苗の補植は市景観課の協力のもとに行う。
啓 蒙	町内会を通じて全戸に配布する。	年2回「香りロード」通信を発行する。

宣 伝	香りロード表示看板等は、市景観課および工業高校と協議して設置する。	
利 活 用	ハーブティーパーティの開催やリースづくり講習など利活用に努める。	



ハーブを用いた独創的な料理を製作中



イベント時のハーブグッズ販売コーナー